



You can hear footsteps and sweet laughter of the people from that era...
Listen and you will hear it on the gentle breeze.



国指定重要文化財 餘慶寺 薬師如来坐像(餘慶寺提供)

中世山陽道 随一の商業地

『福岡の市』
一遍上人絵伝に描かれたにぎわい

一遍上人絵伝には、福岡の市で織物、米、魚、備前焼などを売る商人、武士、市に群がる男女など数多くの人が描かれ、当時のにぎわいを知ることができます。

福岡は備前刀の名を高めた、福岡「文字派」の作刀地でもあり、山陽道の沿道で、吉井川の水運も良く、中国地方有数の商業地として繁栄していました。なお九州の福岡は、豊臣秀吉の参謀・黒田官兵衛の子・長政が、黒田氏ゆかりの地備前福岡にちなんで名付けたといわれています。



瀬戸内今昔

聞こえてくる遠い昔の足音と笑い声。
そよ風につつまれて、
あの時も行交う人々は生を謳歌していた。

清浄なる空間

『余慶寺・弘法寺・本蓮寺』
国指定重要文化財を持つ古の寺院

餘慶寺は奈良時代創立とされる天台宗の古刹。本堂をはじめ、薬師如来坐像・聖観音立像などの国指定重要文化財があり、悠久の時間を感じさせます。

弘法寺は奈良時代創立とされる真言宗高野派の寺院。鎌倉時代の快慶の作、東寿院本尊阿彌陀如来立像、平安時代後期の作、遍明院本尊五智如来坐像はいずれも国指定重要文化財。

本蓮寺は南北朝期創立の法華宗の名刹。本堂、中門、番神堂の3棟の建造物が国指定重要文化財になっています。



国指定重要文化財 本蓮寺 本堂

歴史人物ミニコラム 宇喜多直家

宇喜多直家は砥石城(邑久町豊原)に生まれた。当時宇喜多家は一豪族にすぎなかったが戦乱の中で武功を重ね、やがて備前国を統一して戦国大名にまで成長。岡山城周辺に備前福岡・西大寺の商工業者を集めて城下町の建設を進め、現在の岡山発展の基礎を築いた。



宇喜多直家像 光珍寺 提供



国宝 一遍上人絵伝『福岡の市』(清浄光寺所蔵)
時宗の開祖一遍上人の念仏布教の様子とともに各地の様子が細かく描かれているため、中世の風俗を知るための貴重な資料にもなっている。

写真は左から福岡城跡、七つ井戸、妙興寺

History of Setouchi City

Setouchi City prospered in medieval times. Especially Bizen Fukuoka was one of the biggest commerce sites in Chugoku region. The lively "Fukuokano-ichi" (the market of Fukuoka) at the time was illustrated on Ippen Shōnin Eden drawings. There are a number of old temples such as Yokeiji temple, Koboji temple and Honrenji temple, where you can catch a glimpse just how prosperous Setouchi City was in medieval times.



せとナビ SETOUCHI NAVIGATOR

「一遍上人絵伝」にも描かれた備前福岡は中世山陽道随一の繁栄を誇ったところ。刀剣の福岡一文字派の活躍や豊臣秀吉の参謀・黒田官兵衛の曾祖父の墓所、岡山城を築城した宇喜多氏のことなど備前福岡に関することは数多くあります。こういった歴史をまとめて、後世に残していきたいと思っています。

守護城下町の面影の残る整然と区画された広い道路や「七口・七井戸・七小路」の町並みなど、一歩足を踏み入ると、往時の思いに浸ることができます。

大倉 豊さん(長船町福岡)
備前福岡史跡保存会会長の大倉さん。備前福岡の歴史を後世に伝えるために活躍されています。

